

**(54) INSTALLATION DESK FOR DESK-TOP EQUIPMENT**

(11) 60-84618 (A) (43) 14.5.1985 (19) JP

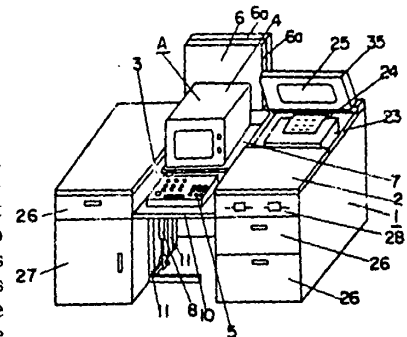
(21) Appl. No. 58-192835 (22) 15.10.1983

(71) MATSUSHITA DENKO K.K. (72) ICHIROU NAGAI(1)

(51) Int. Cl. G06F1/00, A47B37/00

**PURPOSE:** To use one desk for both reading and writing work and desk-top equipment by providing the desk with a storage part and storing the desk-top equipment therein, and covering the top surface opening with a folding desk-top board.

**CONSTITUTION:** The desk-top equipment installation desk 1 has the storage part 3 whose desk-top boards 2 are opened at a proper position. The desk-top equipment A such as a display device 4 and a keyboard 5 is stored in the storage part 3, and the top opening of the storage part 3 is covered with the folding top board 6. Further, an elevation base 7 mounting the desk-top equipment A is arranged in the storage part 3. This elevation base 7 is supported with a gas spring 8, which is operated on an operation part provided on the front of the desk 1 to elevate the elevation base 7. This opening is covered to use the entire surface of the desk top while the desk-top equipment is present thereupon, and the top board 6 are opened to expose and use the desk-top equipment A.



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 昭60-84618

⑮ Int.Cl.<sup>4</sup>

G 06 F 1/00  
A 47 B 37/00

識別記号

1 0 1

庁内整理番号

Z-6913-5B  
Z-8206-3B

⑬ 公開 昭和60年(1985)5月14日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 卓上機器設置机

⑯ 特 願 昭58-192835

⑰ 出 願 昭58(1983)10月15日

⑱ 発 明 者 長 井 一 郎 門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑲ 発 明 者 片 山 智 門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑳ 出 願 人 松下電工株式会社 門真市大字門真1048番地

㉑ 代 理 人 弁理士 石田 長七

明 細 書

1. 発明の名称

卓上機器設置机

2. 特許請求の範囲

(1) 机の適所に机天板で上面を開口せる収納部を設け、この収納部内にパーソナルコンピュータやワードプロセッサのディスプレイ装置やキーボード等の卓上機器を収納し、収納部の上部開口を開閉自在の開閉天板にて閉塞し、卓上機器を収容した昇降台を収納部に昇降自在に配設すると共に昇降台をガススプリングにて支持し、ガススプリングを作動させてガススプリングにて昇降台が上昇するように操作する操作部を机の手前側に設けておくことを特徴とする卓上機器設置机。

3. 発明の詳細な説明

〔技術分野〕

本発明は卓上機器設置机、さらに詳しくはパーソナルコンピュータやワードプロセッサのディスプレイ装置やキーボード等の卓上機器を収容した

卓上機器設置机に関するものである。

〔背景技術〕

一般にパーソナルコンピュータやワードプロセッサなどの卓上機器を設置する場合、それらの卓上機器によつて一つの机が占有されてしまい、卓上機器の非使用時にその机を占めるものや減容のような他の目的に使用できないものである。このため、卓上機器専用の机が必要となるが、卓上機器専用の机を広くには広いスペースが必要であり、室内空間が狭くなるという問題がある。

〔発明の目的〕

本発明は上述の問題点を臨みて為されたものであつて、その主な目的とするところは、パーソナルコンピュータやワードプロセッサを収容してもそれらの卓上機器の非使用時には卓上機器を机内に収納して机を広く使うことができ、しかも開閉天板を開くことにより卓上機器を露出させることができ、さらにガススプリングにて昇降台を上昇させて卓上機器を自動的に上に突出させることができる卓上機器設置机を提供するにある。

## 〔発明の開示〕

本発明卓上機器設置機は機(1)の適所に机天板(2)で上面を開口せる収納部(3)を設け、この収納部(3)にパーソナルコンピュータやワードプロセッサのディスプレイ装置(4)やキーボード(6)等の卓上機器(A)を収納し、収納部(3)の上面開口を開閉自在な開閉天板(6)にて閉塞し、卓上機器(A)を収置した昇降台(7)を収納部(3)内に昇降自在に配設すると共に昇降台(7)をガススプリング(8)にて支持し、ガススプリング(8)を作動させてガススプリング(8)にて昇降台(7)が上昇するように操作する操作部(9)を機(1)の手前に設けたものであつて、上記のように構成することにより従来例の欠点を解決したものである。つまり開閉天板(6)にて収納部(3)の上面開口を開塞することにより卓上機器(A)を置かない状態で天板全面を使用でき、また開塞天板(6)を開いて収納部(3)の上面開口を開くことにより卓上機器(A)を天板上に露出させて使用できるようにし、さらに操作部(9)を操作することにより卓上機器(A)をガススプリング(8)にて上に突出させられるようにしたも

のである。

以下本発明を実施例により詳述する。(1)は机であつて、机天板(2)の略中央に天板をなくして上面を開口せる収納部(3)を設けてある。この収納部(3)内にはキーボードの受け台(4)と、上下動自在なディスプレイの昇降台(7)とを設けてある。昇降台(7)は机(1)に取付けたガイド(9)に対してスライドレール(11)をスライド自在に装着することにより上下に昇降自在にしてあり、昇降台(7)をガススプリング(8)にて支持してある。ここで8はガススプリング収納ボックスである。ガススプリング(8)はシリンドラ(2)内にピストン(3)とフリーピストン(4)を摺動自在に内装し、ピストン(3)と一体のピストンロッド(5)をシリンドラ(2)の一端より突出させ、ピストン(3)にオリフィス孔(6)を設けると共にスプルー(7)を設け、スプルー(7)を開閉操作し得るプッシュロッド(8)をピストンロッド(5)内に摺動自在に挿入させて一端を突出させ、シリンドラ(2)内の室(12a)及び室(12b)にオイルを充填し室(12c)に高圧ガスを封入してある。昇降台(7)にはディ

スプレイ装置(4)を収置してあり、キーボード受け台(4)上にキーボード(6)を収置してある。開閉天板(6)は一対のパネル(6a)を折畳み自在に連結した二つ折りのもので、一方のパネル(6a)の側端を収納部(3)の上部開口の前端縁に回動自在に装着して上面開口を開閉天板(6)にて閉塞してある。机(1)の下部には操作部(9)としてペダル(10)を配設してあり、ペダル(10)と一体のコ字状の連動杆(11)の先端をガススプリング(8)のピストンロッド(5)の先端の取付金具(12)に軸(13)にて回動自在に装着してあり、連動杆(11)の先端部をプッシュロッド(8)の端部に対向させてある。また机天板(2)の右側端にはプリンタ(14)を内装してあり、収納凹所(15)にはプリンタ(14)を内装してあり、収納凹所(15)の上面開口は開閉自在な蓋(16)にて閉塞してある。蓋(16)はアクリルガラスのような透明板よりなる窓(17)を設けてある。窓(17)は引出し、又は扉、又はディスク装置引出しである。しかし開閉天板(6)及び蓋(16)を閉じた状態では第1図のように机天板(2)上にディスプレイ装置(4)、キーボード(6)、プリンタ(14)等の卓上機

器(A)が露出せず、机天板(2)の上面全面を使つて視み書き等ができる。またパーソナルコンピュータやワードプロセッサ等を使用するとき第2図のように開閉天板(2)を折畳んで収納部(3)の上面開口を開き、ディスプレイ装置(4)、キーボード(6)等の卓上機器(A)を露出させる。このとき操作部(9)であるペダル(10)を踏んで連動杆(11)の先端でガススプリング(8)のプッシュロッド(8)を押してガススプリング(8)にて第4図(a)の状態から第4図(b)の状態のように昇降台(7)を上昇させてディスプレイ装置(4)を上方に突出させる。つまりプッシュロッド(8)を押していない状態で昇降台(7)が下降している状態が第5図(a)の状態であり、室(12b)は室(12c)、5図(a)の状態であり、室(12b)は室(12c)の高圧で高圧状態になっている。ここでプッシュロッド(8)が押されるとスプルー(7)が開かれ、第5図(b)に示すように室(12b)の高圧にてピストン(3)が押され室(12a)内のオイルが室(12b)内に流入し、ピストン(3)に対してシリンドラ(2)が上方へ移動し、昇降台(7)が上昇する。ペダル(10)を踏むのを解除するとプッシュロッド(8)の押

圧が解除されてスフル-弁が閉じられて第5図(c)の状態になつてロックされる。またフリント4は蓋10を閉じた状態でも開いた状態でも使用できる。蓋10を閉じた状態で使用するとき蓋10からプリントされている状態を見ることができる。またディスプレイ装置14を下げる場合はカススプリング18に抗してディスプレイ装置14を押下げる。つまりペダル10を踏んでフツシュロッド12を押してスフル-弁を閉じて上から押すと、第5図(b)の状態になりオイルが室(12b)から室(12a)に流入し、ペダル10の圧を解除すると、第5図(a)の状態にロックされる。ディスプレイ装置14を下降させた後閉天板12を展開して収納部13の上開口を閉じて第1図の状態にする。

また第7図は叙述の他の実施例を示すもので操作部10として手で操作するレバー10を用いたものである。レバー10の先端部を昇降台17の下方に凹動目仕に嵌着してあり、ヒストンロッド12の取付金具部に作動杆30を凹動目仕に嵌着してあつて、作動杆30の先端をフツシュロッド12に当接してあ

り、作動杆30の端部とレバー10の先端とをフツシュロッド12を介してワイヤ32にて連結してある。しかしレバー10を下に押すとワイヤ32、作動杆30を介してフツシュロッド12が押圧される。

#### 〔発明の効果〕

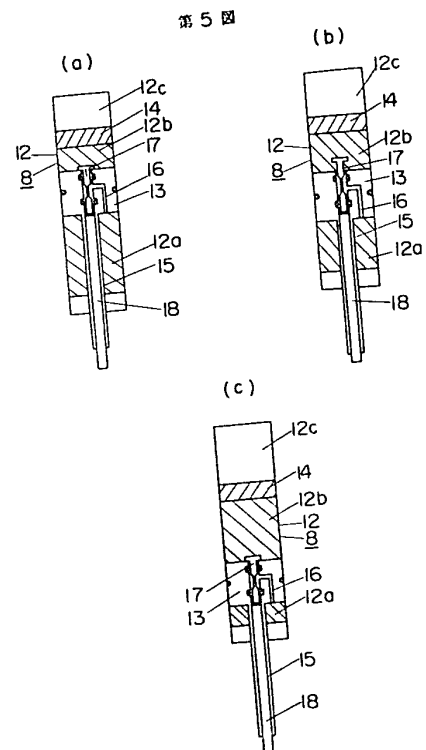
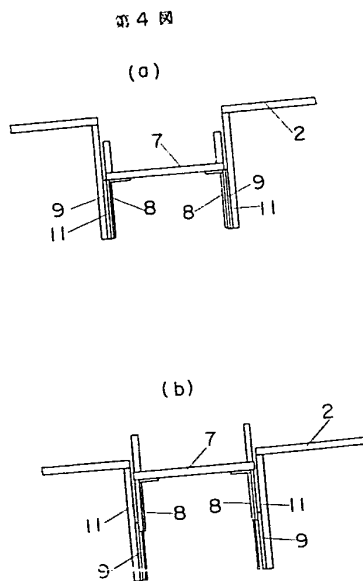
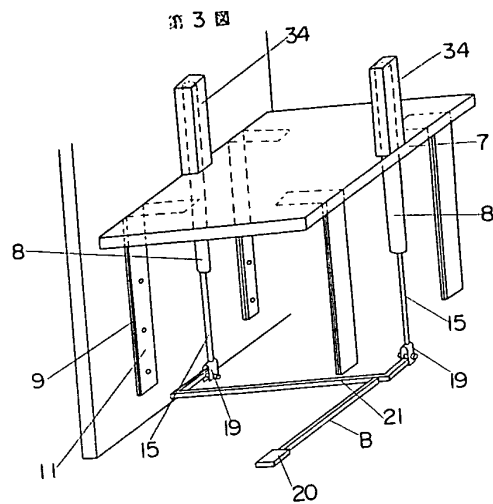
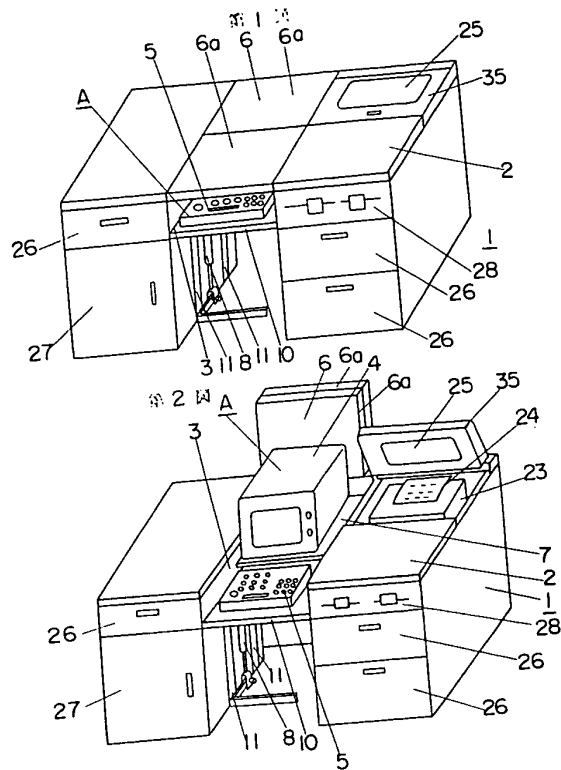
本発明は叙述の如く機の搬送に機天板で上面を開口せる収納部を設け、この収納部内にディスプレイ装置、キーボード等の卓上機器を収納し、収納部の上面開口を開閉自在な閉天板にて閉塞しているため、上面開口を閉塞した状態では卓上機器が機天板上に露出せず機天板上の全面を使つて読み書き等ができるものであり、しかも閉天板を開くことによりディスプレイ装置やキーボード等の卓上機器を露出させて使用できるものである。従つて昭和の読み書きと卓上機器の使用が一台の機で兼用できる上、卓上機器を埋入しても室を広く使える。また本発明は卓上機器を収めた昇降台を収納部に昇降目仕に嵌着すると共に昇降台をカススプリングにて支持し、カススプリングを作動させてカススプリングにて昇降台が上昇するよ

うに操作する操作部を機の半前に設けてあるので、操作部の操作にてカススプリングにて昇降台が上昇して卓上機器が目動目仕に突出するものである。

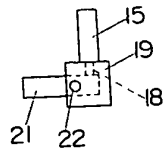
#### 4.図面の簡単な説明

第1図は本発明の第一実施例を示す斜視図、第2図は同上の閉天板を開いた状態の斜視図、第3図は同上の昇降台を昇降させる機構の斜視図、第4図(a)(b)は同上の昇降台の昇降の状態を説明する説明図、第5図(a)(b)(c)はカススプリングの動作説明図、第6図はカススプリングとペダルとの連結部を示す断面図、第7図は同上の他の実施例の昇降台を説明する機構を示す斜視図であつて、(1)は机、(2)は機天板、(3)は収納部、(4)はディスプレイ装置、(10)はキーボード、(12)は閉天板、(17)は昇降台、(30)はカススプリングである。

代理人 井理工 白 山 茂 七



第 6 圖



第 7 圖

